

復興の進捗状況

【気仙沼・本吉地域版】

平成29年1月4日

宮城県

この『復興の進捗状況』は、宮城県が取り組む気仙沼・本吉地域の復旧・復興事業について、その進捗状況等を表したものです。

インフラ施設などの項目については、事業の進捗に応じて、事業の着手段階における進捗と事業完了段階における進捗の両方を記載しています。「着手」は、工事請負契約を締結したものを示し、「完成」は工事が完了したものを示しています。

公共土木施設災害復旧事業・インフラ関連

項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
河川施設 (復旧工事) 被災箇所数: 21か所		着手 100% 着手箇所数: 21か所 (H28/12末現在) 完成 約19% 完成箇所数: 4か所 (H28/12末現在)
海岸保全施設 (復旧工事) 被災箇所数: 32か所		着手 約97% 着手箇所数: 31か所 (H28/12末現在) 完成 約25% 完成箇所数: 8か所 (H28/12末現在)
道路・橋梁施設 (復旧工事) 被災箇所数: 道路 111か所 橋梁 12か所		着手 約98% 着手箇所数: 121か所 (H28/12末現在) 完成 約80% 完成箇所数: 99か所 (H28/12末現在)
港湾施設 (復旧工事) 被災箇所数: 11か所		着手 100% 着手箇所数: 11か所 (H28/12末現在) 完成 約36% 完成箇所数: 4か所 (H28/12末現在)

経済・商工関連

項目	(営業・稼働事業者数) ／(被災事業者数等)	復旧状況						
被災商工業者の営業状況 商工会議所・商工会の被災会員数： 1,332会員 (H23/3)	<p>67%</p> <p>50% 100%</p> <table border="1"> <tr> <td>廃業</td> <td>392会員</td> </tr> <tr> <td>未定</td> <td>51会員</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>443会員</td> </tr> </table>	廃業	392会員	未定	51会員	計	443会員	約67% うち仮復旧中20% 営業継続会員数： 889会員 ※廃業除く：約95% (H28/3/31現在、県調べ)
廃業	392会員							
未定	51会員							
計	443会員							

項目	進捗率 (完了事業者数) ／(交付決定事業者数)	復旧状況
中小企業等グループ補助金による支援状況 交付決定 992事業者 (H28/8/31) ※当初交付決定-廃止	<p>73%</p> <p>50% 100%</p>	約73% 完了 721事業者 (H28/8/31)

観光関連

項目	(現在値) ／(震災前値)	回復状況
観光客入込数 H22年 362万人	<p>59%</p> <p>50% 100%</p>	約59% H27年 215万人 (H27年観光統計概要)

雇用関連

公共職業安定所の有効求人倍率 (原数値)

	県全体	気仙沼
H23年4月	0.39	0.19
H28年11月	1.59	2.18

雇用情勢(H28年10月)【資料出典：ハローワーク気仙沼】

有効求職者数※ 1, 040人
 【震災直前(H23.2)：1, 778人】
 【ピーク時(H23.6)：6, 325人】
 ※有効求職者：震災による失業者、震災以外の理由による失業者、震災前からの失業者等

宮城県事業復興型雇用創出助成金による雇用創出の取組

期間の定めのない雇用等を行った民間事業主等への支援
 実績：769社、2,705人(延べ数・申請ベース)(H28年3月末)

農業関連

項目	(着手・完成面積等) ／(復旧対象面積等)	進捗率
農地 (除塩含む) 復旧対象面積: 約 1,130ha ※年度別復旧計画 H23 120ha H26 115ha H24 555ha H27 10ha H25 310ha H28～ 20ha		着手 約 99% 着手面積: 約1,118ha(H28/11末現在)
		完成 約 90% 完成面積: 約1,021ha(H28/11末現在)
農地海岸 対象箇所数: 20箇所 ※年度別復旧計画 H24 8か所 H26 7か所 H25 4か所 H27 0か所 H28 1か所		着手 約 95% 着手箇所数: 19か所(H28/11末現在)
		完成 約 70% 完成箇所数: 14か所(H28/11末現在)

項目	(復旧面積) ／(復旧対象面積)	復旧率
園芸 (園芸用ガラス室・ ハウス復旧面積) 被害面積11.3ha のうち 復旧対象面積: 約7.4ha (H23/3/11)		100% 復旧面積: 7.4ha (H28/12末現在)

復興の進捗状況(園芸)



気仙沼市のいちご生産組合では、平成23年と平成25年に東日本大震災農業生産対策交付金を活用して、ハウスを建設(1.3ha)。

南三陸町のきく生産組合では、平成23年～25年に復興交付金や東日本大震災農業生産対策交付金を活用して、きくの栽培施設を建設(1.8ha)。

気仙沼市本吉町小泉地区に、株式会社サンフレッシュ小泉農園が東日本大震災農業生産対策交付金を活用して、平成27年8月に県内最大規模のトマト養液栽培施設(2ha)を建設。年間目標収量は600t。

林業・水産業関連

項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
治山施設 (山地・海岸) 被災箇所数: 9か所		着手 約89% 着手箇所数: 8か所(H28/12末現在) 完成 約33% 完成箇所数: 3か所(H28/12末現在)
林道施設 被災箇所数: 9か所		着手 100% 着手箇所数: 9か所(H28/12末現在) 完成 約89% 完成箇所数: 8か所(H28/12末現在)
項目	(被災後製品出荷額) ／(被災前製品出荷額)	復旧状況
木材加工工場の製品出荷額 H22製品出荷額: 約3億円 (主要工場3社) ※震災で生産停止		約177% H27製品出荷額: 約5.3億円 主要工場3社について、 全て復旧が完了し、操 業中

項目	(着手・完成箇所数) ／(被災箇所数)	進捗率
漁港 (復旧工事) 被災箇所数: 558か所 ※被災漁港数60港の内、 60漁港に着手。		着手 約87% 着手箇所数: 486か所(H28/9末現在) 完成 約67% 完成箇所数: 376か所(H28/9末現在)
項目	(被災後数値) ／(被災前数値)	復旧状況
漁船 震災前の稼働漁 船隻数: 約3,600隻 (H23/3/11)		約100% 稼働隻数: 3,595隻 (H28/12末現在)
主要魚市場の 水揚状況 H22の水揚金額: 約240億円 (約11万ト) (H22/1～H22/12)		約90% H28の水揚金額: 約217億円 (約8.1万ト) (H28/1～H28/12)

復興に向けた管内の動き

復旧農地で「南三陸ねぎ」の栽培に取り組んでいます

東日本大震災の津波で被災した農地では、ほ場整備の進展に合わせてねぎの生産体制の構築や、被災地域農業復興総合支援事業による農業機械・施設等の整備が進められています。また、全農みやぎ、JA南三陸を通じた業務用ねぎとしての取り組み等により、「南三陸ねぎ」の生産量は増大傾向にあります。

作付面積は平成24年の0.3haから平成28年には10.8haに拡大しており、このうち約6haが、地域と連携して組織的に取り組んでいる1法人2組合によりほ場整備地区で栽培されています。今後、ほ場整備の進展に伴い作付けの拡大が見込まれるとともに、出荷期間を拡大するための作型の確立にも取り組み、将来的には30haまで作付けを増やす計画です。

さらに、昨年10月には、「南三陸ねぎ」を使ったアイデアレンピのコンテストが開催され、飲食店関係者、主婦、小中学校の児童、生徒からの応募が70作品にものぼり、地域資源としての活用も進んでいます。

(本吉農業改良普及センター・気仙沼地方振興事務所農林振興部)



【南三陸町在郷工区での
現地検討会】



【レシピコンテスト受賞者のみなさん】

気仙沼冷凍水産加工業協同組合冷凍冷蔵施設が完成しました

東日本大震災で被災した気仙沼冷凍水産加工業協同組合の冷凍冷蔵施設が再建され、平成28年11月16日に関係者約60人が参集し、竣工式が催されました。

新しい冷凍冷蔵施設は、気仙沼市赤岩港地区の水産加工団地内に完成し、敷地面積15,122㎡、鉄骨造り一部2階建てで、1,000トン級の冷蔵室(-30℃)を6室、日産20トンの凍結室(-30℃)を2室を備え、閉鎖式の低温荷さばき室を整備して水産物を衛生的に取り扱うよう工夫もされています。

この施設の完成により、気仙沼市朝日町にある超低温冷蔵庫(-50℃、2,000トン)と合わせ、震災前と同規模の冷凍冷蔵保管事業が再開されることとなります。

(気仙沼地方振興事務所水産漁港部)



完成した冷凍冷蔵施設



発行：宮城県気仙沼地方振興事務所地方振興部

電話：0226-24-2593 E-mail:kstssss@pref.miyagi.jp

ホームページ：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-e/>